

青葉通信

第5号

発行
社会福祉法人
中日新聞社会事業団
中日青葉学園

学園を紹介するパンフレットを刷新するのに当たり、子どもたちから表紙を飾る絵画を募集しました。あおば館三十一人(幼児六人、小学生二十人、中学生五人)、わかば館五人(小学生三人、中学生四人)合わせて三十六人から四十点の応募があり、審査の結果、わかば館中学三年女子の作品Ⅱ写真(左)Ⅰが最優秀賞に選ばれました。「あおば」わかば「両館の子が力を合わせ

て「自立」「希望」「夢」の三つの大きな目標に向かって進んで行くことを表現しています。優秀賞にはあおば館中学三年女子が輝く太陽の下、「夏の球技大会」「青葉まつり」「音楽の集い」「クリスマス会」など学園行事に元気に取り組む姿Ⅱ写真(右下)Ⅰを描きました。このほか五点が佳作となりました。最優秀の女子は「希望と夢を持ち、自立していくという私たちの思いがいろんな人に届けばうれしい」と話しています。



最優秀

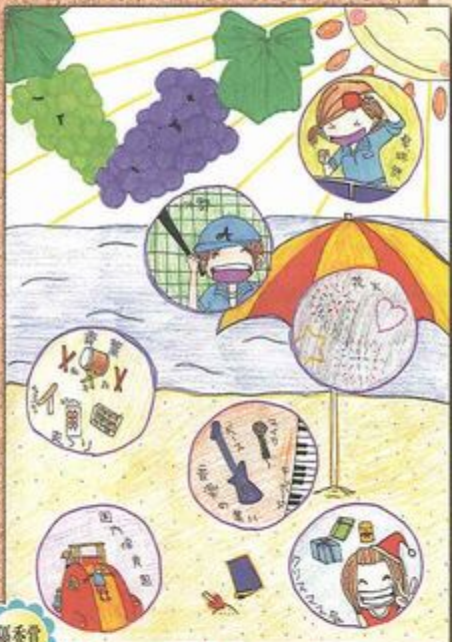
わかば館 中学3年 女子



あおば館 小学6年 女子



あおば館 中学1年 女子

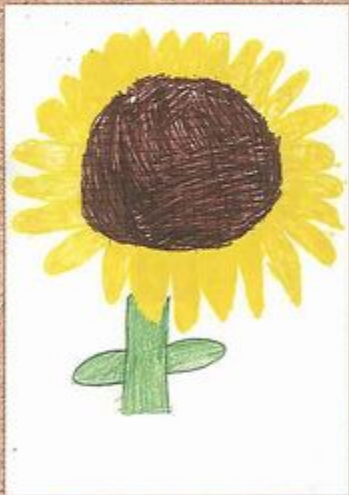


優秀賞

あおば館 中学3年 女子



あおば館 小学5年 女子



あおば館 小学4年 男子



あおば館 小学6年 男子





わかば館 高校3年 男子

愛知県内児童福祉施設の夏の一大行事、県児童福祉施設入所児童夏季球技大会で、わかば館Aチームが昨年に続いて卓球団体戦で優勝、ソフトボール一部卓球個人戦でわかば館三人が三つの部で優勝を独占、わかば館児童を含め計七人が上位入賞を果たしました。

最多優勝

この大会は昭和三十年代に始まり、学園としての参加は今年四十四回目。昭和三十年開設の学園は、当初虚弱児施設だったことから、児童の体力作り、団結心向上のため、その指導に力を入れてきました。今年、卓球団体戦は通算三十一回目の優勝、これまでに二十六回の優勝のソフトボールは、決勝戦で昨年優勝の光輝寮に惜敗しました。

わかば館卓球団体戦 2年連続優勝

ソフトボール 準優勝

わかば館八人が参加しました。ソフトボール第一試合、わかば館は和和荘を二対〇で下し、わかば館は三対九で光輝寮に敗れました。わかば館十八人、わかば館十八人が参加しました。



わかば館 中学3年 男子

わかば館 小学5年 男子

ソフトボール第一試合、わかば館は和和荘を二対〇で下し、わかば館は三対九で光輝寮に敗れました。わかば館十八人、わかば館十八人が参加しました。



わかば館 小学5年 男子

あおば館監督の高崎孝一は「子どもたちよく打ち、よく守った。三試合ともいい試合だった」と健闘を讃えていました。四年間のコートの後、今年監督デビューの園原基治は「当日、子どもだけでなく私も緊張しました。一回戦で負けました。子どもたちは充実した顔でベンチに戻ってきまして。一人ひとりの顔を見て安心しました。来年も今年のようなチームを作りたいと思っています」と話していました。



わかば館 小学5年 男子

は第二試合、赤羽根学園に十二対九で逆転勝ち、決勝に進み、光輝寮と対戦。決勝戦では七回表逆転され、その裏同点に迫り、タイムブレークの八回表、満塁ホームランで四点とられ、最終回の攻撃は二点に止まり、九対十一で準優勝という結果となりました。



わかば館 小学5年 男子

あおば館監督の高崎孝一は「子どもたちはよく打ち、よく守った。三試合ともいい試合だった」と健闘を讃えていました。四年間のコートの後、今年監督デビューの園原基治は「当日、子どもだけでなく私も緊張しました。一回戦で負けました。子どもたちは充実した顔でベンチに戻ってきまして。一人ひとりの顔を見て安心しました。来年も今年のようなチームを作りたいと思っています」と話していました。



わかば館 小学5年 男子

半年の出来事

- 4月 日進中学校入学式(あおば館、わかば館各4人)
- 7月 北小学校入学式(あおば館2人)
- 10月 ベタテ幼稚園入園式(あおば館3人、わかば館2人)
- 19日 新入園児歓迎のあおばボウリング大会(写真見)
- 26日 連合愛知からAEDの贈呈
- 2日 日進中学校で青葉分校スポーツフェスティバル。綱引き、長縄跳びなど
- 3日 わかば館、南知多ビーチランド招待(写真見)
- 4日 あおば館、明治村招待
- 9日 青葉分校で交通安全教室
- 10日 あおば館、金華山・名和昆虫博物館へ
- 7日 午前、清掃活動、午後、青葉スポーツ大会
- 16日 職員研修1班、中日新聞社、愛知学園、春日井児童相談センター視察
- 18日 同2班同視察
- 7月 救命講習会。尾三消防本部から心肺蘇生法、AED使い方を学ぶ(写真見)
- 27日 劇団飛行船「ノック」招待
- 31日 中日子ども村にあおば館8人、わかば館8人参加(8月2日まで)
- 12月 わかば館オーケランドボウル春日井にボウリング招待(写真見)
- 19日 施設長会ソフトボール大会(幸田町)
- 20日 同卓球大会(日進市)
- 22日 あおば館オーケランドボウル春日井にボウリング招待
- 26日 県施設長会・高校生交流会児童3人
- 28日 職員2人参加
- 30日 わかば館で児童、卒園生がゲーム、軽食で夏を締めくくる(写真見)
- 9月 6日 あおば館小学5年生4人中都善意銀行のUSJ招待
- 22日 日進中学校体育大会、あおば館20人、わかば館16人が参加
- 27日 北小学校運動会、あおば館29人、わかば館9人が参加
- 28日 あおば館記録会

海に山に心に残る夏のキャンプ

夏休みのキャンプはあおば館幼児が七月十九日、二十日の一泊二日、わかば館が二十日から二十二日、あおば館小学生が二十一日から二十三日、あおば館中学生が二十四日から二十六日の各二泊三日の日程で行われました。小学生、中学生はあおばわかば両館合同でしたが、今年、分かれ、わかば館は小中学生一緒に出かけました。

行き先は、あおば館幼児は三重県熊野川浦・中日海の家、わかば館・あおば館中学生は福井県若狭湾、あおば館小学生は岐阜県郡上市。いずれも天気は恵まれ、子どもたちは日焼けし思い出に残る行事となりました。

あおば館幼児十一人は、午後一時過ぎに海の家到着、体調チェック、準備体操の後、目の前の鼓ヶ浦海水浴場へ。アームリングと浮き輪を併用、幼児一人に職員、ボランティアがほぼ一人付き、安心して海を楽しんだ。その夜は、海岸で花火(写真見)、翌日はスイカ割り(写真見)、シヤボン玉遊びをした後、近くの電力館を見学(写真見)、清流で川遊び(写真見)、全員ライフジャケットをつけ、岩場から



あおば館 小学5年 女子

飛び込んだり、流れに身を任せたり。夕食は六つのグループが事前に考えたメニューの食材を買い出し、カレー、オムそば、焼き鳥、フルーツポンチ(写真見)などをみんなで力を合わせて作って、バイキング形式で食べました。最終日は、昭和村に立ち寄り、オカリナ作りなどを体験しました。

あおば館中学生は、四班が二グループ編成。宿泊は、三方青年の家と常神半島最先端の常神地区の民宿。一日目は、松原海岸で海水浴(写真見)、二日目は常神にある無人島で、海水浴(写真見)、素もぐり、釣りを思い思いに楽しめ、サザエのつぼ焼きも最終日は敦賀湾離れ島での海水浴(写真見)、若狭湾での釣り、敦賀市内観光と分かれて遊んだ後、夕方、帰りまじした。釣り組は大きな真ダイをゲットする子もいて、学園調理員さんにさばってもらい、その日のうちに焼いたり、煮たり、刺身でおいしく頂きました。



あおば館 小学3年 男子

「初めに乗った船で動かし、うしろを向いて、どきどきしながらあるかきつぱり分らずにまわりました。何とか楽しくすごすことができました。広い海、青い空、いろいろな音をかなでながらゆらゆらとゆるるあざやかな波、そしてきれいな色の船。本当に幸せでした。」(MR)

「初めて船に乗りました。なんとシヤンデリアなどすごいものがありました。行事では、ウミガメのことや星の観察、避難訓練などいろいろありました。そして、ごはんがすごくおいしかったです。フランス料理でした。また乗ってみたいと思います。」(SK)



あおば館 小学5年 女子

楽しかった夏の旅

中部九県の小学六年生約四百人に船旅を通して、海の知識を深め、友達を作ってもらう中日新聞社主催の海洋エクスカーションに学園の男子小学六年生二人が特別招待され、豪華客船の旅(写真見)を楽しみました。



あおば館 小学3年 男子

名古屋港で二万トンの客船「つば丸」に乗船、太平洋を巡航、翌二十八日、同港に戻るコース。船内では避難訓練、フルコースの夕食、星空観測、海上保安庁のヘリコプターによる急病人搬送訓練など思い出に残る体験をしました。



あおば館 小学3年 男子

英会話教室

五月から会議室で名古屋外国語大学の学生ボランティアによる「英会話教室」写真が始まりました。ボランティアで以前からお世話になってる原田邦彦・同大教授の発案で月二回、小学生、中学生が対象。第一回はあいさつ、自己紹介からスタート。四コマの絵の中の人物が交わす簡単な会話にあった言葉を入れる勉強も。十月初めには、ハロウィーンをテーマに行い、子どもたちは照れながらも、笑顔でレッスンを受けています。



AED寄贈

連合愛知助け合い運動の一つとして、あおば館、わかば館に去る四月末、それぞれAED(自動体外式除細動器)写真の寄贈がありました。学園では二年前、一台購入し、緊急時に両館で使えるようロビーに設置していましたが、各館に一台ずつ配備でき、キャンプ、スポーツ大会など学園外での活動時に携帯可能となり、緊急時に備えることが出来るようになりま



フェンス工事

十月八日、ロイヤルホームセンター長久手、新守山、西枇杷島各店の店長さんら六人が学園正門から正面玄関への坂沿い雑木林との境界に木製フェンス(二部)を設置し写真しました。学園職員が仕事の合間に作業を始めましたが、百五十メートルの境界のうちこれまでに設置できたのは三分の一ほど。社会貢献を考えていた古志野晃哉・長久手店長が他店に呼びかけてボランティアとなりま



絵画寄贈

五月下旬、名古屋市の鈴木光さんから画家の故鈴木国穂さんの作品五点を頂きました。ピエロなどを描いた油彩で応接室、あおば館ホーム写真、わかば館食堂などに飾っています。



回覧板

子育て相談

日進市児童課が十月から始めた「小中高生の子育て相談」の相談員をあおば館家庭支援専門員が引き受けることになりました。毎月第二月曜日(祝日の場合は第四月曜日)の午前10時から正午まで。場所は市役所四階相談室。対象は、市内在住の十八歳未満の子どもの保護者で、内容は、生活、家庭での人間関係、非行、不登校など。申し込みは前日までに同市児童課(電話05611731402)へ。



職員勤続表彰

学園は十月一日、あおば館、わかば館の複合施設となつて六年目を迎え、両館で次の十一人が二日の合同会議の席で勤続五年の表彰を受けました。
▽あおば館児童指導員 阿尾匡晃さん、鶴飼直樹さん、武智絵里さん、水野麻里さん、森田健路さん
▽同心理士 山内早苗さん
▽わかば館児童指導員 浅野寿枝さん、川上知幸さん
▽同心理士 荒木靖子さん、岡部匡俊さん
▽同調理員 有田道子さん

学園人事

〔採用〕
小島二美(わかば館看護士)
10月1日付け
〔退職〕
糸永紀美子(同)
9月30日付け

職員紹介

わかば館看護士▽小島二美(ふみ)
▽水瓶座▽名古屋生まれ育ち、尾張旭在住▽自然素材の小物や家具を集めることが好きです。よろしくお願ひします。



ありがとうございました

今年四月以降、十月上旬までに次の皆さんから支援をいただきました。安全対策、健全育成などに役立ててまいります。ありがとうございます。
木下サーカス、東芝ソリユション、兼松エレクトロニクス、日進電気、ヴァリダックス、鬼頭昌子、丸新舎、中日ドラゴンズ、ナゴヤドーム、中日電光ニュース、中日高速オフセット印刷、中日岐阜オフセット、シー・ピー・エス、中日プリンタリ、名古屋タイムズ印刷、中日オフセット印刷、中日制作センター、中日エージェンシー、中日アド企画、

中日アドレップ、中部日本ビルディング、中日サービス(十万円)共生印刷、中日ショッパ(五万円)野崎民夫(三万五千円)中日企業、中日興業、瀬戸中日サービス、名古屋サービスセンター、中日江南サービス、あま中日サービス、半田中日サービス、岡崎中日サービス、豊田中日サービス、中日総合サービス、中日広告センター、東名古屋サービスセンター、中日三河折込、古川博三(三万円)高島良樹、真能秀久、伊藤勝彦、西川順之助、白田信行、田中裕子、I、M、匿名(二万円)夢シート、劇団飛行船、中部善意銀行、明治村

南知多ビーチランド、野外民族博物館リトルワールド、名和昆虫博物館、中日劇場、オイクランドポウル春日井、名古屋ツバ友の会、東急バス、名古屋トヨベツト、慈眼寺、中部トハン会、鈴木光、小野寺節子、連合愛知、ツカモトヤ、マツモトプラテック、TRY&TRUSTマリオ、日進店、親切会中部支部、日本出版販売、竹の子会、日進市更正保護女性会、東海アイスクリーム協会、J A三重南紀、老番屋、ジェイプロジェクト、僕のAパン、都筑(以上招待、物品)
(順不同、敬称略)

平成19年度 中日青葉学園決算

あおば館			わかば館		
収入の部		支出の部	収入の部		支出の部
雑費	162,068,212	人件費	135,136,532	雑費	136,485,992
補助金	15,454,350	事務費	20,917,864	補助金	3,131,000
寄付金	6,895,295	事業費	51,451,841	寄付金	185,600
雑収入	5,175,010	次期繰越金	2,705,850	雑収入	1,571,387
利息	19,020			利息	9,966
繰入金	600,000			繰入金	9,600,000
	210,211,887		210,211,887		150,983,945
					150,983,945

社会福祉法人中日新聞社会事業団
〒460-8511
名古屋市中区三の丸1-6-1
中日新聞社1階
電話052(221)0580
ファクス052(221)0839
中日青葉学園
〒470-0131
愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164
児童養護施設「あおば館」
電話0561(72)0134
ファクス0561(74)2315
児童心理療育施設「わかば館」
電話0561(74)7752
ファクス0561(72)7557

編集後記
学園が児童養護施設「中日青葉学園」から児童養護施設「あおば館」、児童心理療育施設「わかば館」の複合施設となつて丸五年が経過、この十月から六年目に入りました。職員、児童の入れ替わりが毎年ありますが、複合施設としての形が徐々に出来上がりつつあると思えます。これからも子どもたちが安全に安心して暮らせる施設を目指して参ります。一層のご支援をお願いいたします。(M・M)